

家族と助け合い

中札内中学校一年 高原 麻央

私の親の仕事は、肉牛を育てる仕事です。

両親ともに牛を育てており、小さい頃から

見てきました。牛には、ミルクやえさ、そう

じ、ほかにいろいろ協力をしていて凄く素

敵だと思いました。私の親がやっていること

は、命がかかる仕事です。そのため時間もか

かるときがよくあります。そのため親は、役

割を分担し、兄や、私も手伝いをし、助け合

いをしてきました。夜がおそくなるときもあ

り、その時は、父が仕事をやり、母は家に戻

り、兄弟のご飯、そうじ、洗濯などをして、

親は、助け合いをしてきました。それを見て

私は、大変そうだけど、協力ができていて素

敵だと思いました。私たち兄弟が大きくなる

と、洗濯、掃除、牧場の手伝いをやるように

なりました。やってみると親の大変さがわか

り、助け合いは、凄いいことだと思いました。

助ける人も、助けられる人もやることも早く
終わりに、楽になります。
この助け合いは、皆さんの家庭でもあると
思います。くつをそろえる、掃除をするなど
ちょっとした助け合いでも、時間がうまれ楽し
い時間、ちゃんと話しができる時間が生まれ
ます。
親は、共働きで、女は、家事みたいなこと
がありません。男女関係なく、互いに理解し
協力をしていて、凄いいと思います。
家族とは、それぞれの苦手なこと、できな
いことを補っていろんなことを分担し、助け
合いをしていける存在です。私の意見かもし
れないけれど、社会も、私の家族みたいに互
いに、出来ること、得意なことをし、助け合
いジェンダーが少ない、生きやすいところに
したいです。
皆さんも、家のこと、家族のことを助けて
みてください。